

浜っこだより

浜原
隣保館

TEL: 75-0340

令和2年9月10日発行 ☆No.6☆



研修会

【8月27日(木)～28日(金)】
島根県隣保館職員・主管課行政職員等 前期研修会が松江市で行われました。1日目は、「地域共生に資する地域活動の促進」と題しての講義や相談業務・相談支援の演習などがありました。チームで支え合い、「助けて」と言える人間関係形成が大事であると学びました。2日目は、「災害時でも人権が守られるために」「災害に強い隣保館とは？」など、防災の基礎知識や隣保館における災害予防の取り組みについて学びました。



お茶女の会 「人権学習会」

【8月25日(火)】 滝原地域のお茶女の会の皆さんが、浜原隣保館で人権学習会をされました。「ネット差別を許すな!」というDVDを見て研修され、感想や意見交換をしました。「自分の言葉に責任を持つことが大事」「寝た子を起こして正しいことを知る必要がある」などの感想がありました。



♪ いろは倶楽部で、心肺機能・口腔機能維持向上のために「大きなシャボン玉作り」をしました。♪

【材料】 一度沸騰させて冷ました(100ml)・台所用中性洗剤(15ml)・ガムシロップ(30g)

【やり方】 ストローにシャボン玉液を浸けて、大きく息を鼻から吸い、ストローをくわえてゆっくりと吐き出します。

※ガムシロップを入れると割れにくくなります。分量は自分で調整してもいいです。

※ いろは倶楽部では、タクシー送迎ができます。詳細は、浜原隣保館にお尋ねください。



差別や偏見のない美郷町のために!

～美郷町をもっと住みよい町に～

新聞・テレビ等でも報道されているように、新型コロナウイルス感染症の感染者やその家族、治療にあたった医療従事者、他地域からの転入者などに対して不当な差別、偏見、いじめ等が起きています。人の心理としてその不安や恐れを目に見える対象にすり替え、嫌悪し遠ざけることにより安心を得ようとする。

新型コロナウイルス感染症は目には見えない上に治療法が確立されていないため、誰もが不安や恐れを感じています。

どう考えたら良いの？

- ☆ 憎み恐れるのは病であって「ひと」ではない!
- ☆ 非常時に見えてしまう「地域の実情」と「人の心」

そこで!!



地域の結束「絆行動」をしよう!

- ・大変なのは近隣の人ではなく「感染者やその家族、ウワサの当事者」です!
- ・排除するのではなく「守る」の心を!

自分が当事者だったら周囲にどんな対応をして欲しいか考えてみましょう!

- ★ 地域から感染者が出た時に、感染者やその家族を遠ざけて排除するのではなく、
「何かほしいものはない？」
「何かして欲しいことはない？」
「接触は出来ないけど、出来ることは手伝うよ」
「安心して養生してね」
と言える地域であってほしい。

地域での根拠のない噂話やインターネット上にある誤った情報の拡散は人権侵害になります。誰もが住みよい町をみんなで作りましょう。

相談事業

人権相談、生活相談、就労相談、福祉・健康相談、教育相談など幅広く相談に応じています。隣保館での相談内容は『外部にもれることなく、料金もかかりません』お気軽にご相談ください。

いろは
倶楽部
10月 28日(水)
13:30～15:30

脳トレ

ゲーム・体操

工作・塗り絵

療育音楽

10月の予定

13(火)	楽しいちぎり絵教室	23(金)	古文書教室
19(月)	民舞教室	26(月)	生花教室
22(木)	健康運動教室(コートピア職員指導)	27(火)	俳句教室(予定)
		28(水)	いろは倶楽部

